



ぶどうぐみ（5歳児）夏。わくわくときどき子どもたちの様子や遊びを紹介します。



夏のあそび



おばけやしきは大盛況



先月の夏まつりでは、お面や衣装、部屋の装飾や仕掛けなどたくさんの制作物を準備してお客さんを迎えました。

年下のお客さんばかりなので、子どもたちはどのように接すれば良いか相談し、「優しくしてあげる」「あんまり怖くしない」などの意見を出し合いました。当日は怖がっている子がいれば、妖怪の真似をやめたり、話しかける時はかがんで目線を合わせるなど、妖怪になりきることを楽しみつつも小さいお客さんのことも気遣っていました。自分だけが楽しければ良いのではなく、周りの人の気持ちにも気づこうとする優しさに一人ひとりの成長を感じました。

おまつり後に他クラスの担任が「もう一度おばけやしきして欲しいな」と言っていたことを子どもたちに伝えると「じゃあ、してあげよ」と嬉しそうに微笑んでいました。

プールあそびでは、回を増すごとにどんどん動きが活発になり、魚のように完全に潜って泳いでいる子もいます。少し水が苦手な子も友だちがぐるぐるフープを持って保育士の手伝いを張り切ってしています。水中に潜る子、ワニ泳ぎが得意な子、大根抜きが大好きな子など、それぞれが自分の楽しいことを見つけて保育所最後のプール遊びを楽しんでいます。



冷たいけど気持ち良いね



暑さ対策をしながらの園庭遊びですが、セミ捕りになると子どもたちは暑さも忘れて夢中で木とにらめっこしています。背が届かない時は保育士に「先生、とって」とお願い。たまに保育士が失敗して申し訳なさそうに謝ると、「いいよ。また探したらいいんやし」と寛大な心で慰めてくれます。

暑い日が続く中で、熱中症の怖さを子どもたちに伝えながら、熱中症にならないためには水分補給や、日陰で遊ぶ、体調がおかしいと感じたら保育士にすぐ教えるなど自分で自分を守る意識が高まればと思っています。

畑で育て、収穫したスイカで**スイカ割り**をしました。順番に目隠しをして友だちの「みぎみぎ」「もっとまえ」などの声をたよりに進み勢いよく棒を振り下ろす子どもたち。方向感覚を失った友だちが棒を振り上げじりじりと近づいてきて…「キャー」「逃げろ！」と慌てて逃げる姿も見られるなど大盛り上がりでした。割れたスイカはその後、美味しくいただきました。



どしたの
こわかったん



だれかきたらつるべおとしをおとすで



2022/07/03



いらっしやいませ
チケットはあちらです



べろべろばあ！